

子どもたちに大きな借金を残す

巨額 300 億円以上 ・ 巨大 3700 人収容 の 新・市民会館「計画」は白紙にもどし 市民の声をもっと聞くべきです



今なら間にあう

(「都市計画決定」していません)

68 億円の計画が 市長の独断で 300 億円以上に

水戸市は泉町 1 丁目北地区に再開発事業で新市民会館建設を行う「計画」です。

2014 年の水戸市第 6 次総合計画では、新市民会館は 68 億円となっていました。ところが突然、水戸市長の独断で 300 億円を超える今回の「計画」を発表しました。

大工町再開発では 40 億円の税金を投入したものの、いまだにビルのテナントは埋まっています。この反省なしに、わずか 500 メートル離れた場所に 300 億円以上の巨大な事業は許せません。

白紙撤回しない場合、 賛否を問う住民投票へ

ごく一部の企業や政治家の利権が渦巻いています。「計画」の収容人数は 3700 人(大ホールは旧市民会館の倍の 2000 人)、専用駐車場は 300 台で大渋滞は必至です。この異常ともいえる「計画」はただちに白紙に戻すべきです。

白紙撤回しない場合、「計画」及び市費の支出の賛否を問う住民投票をめざします。

新市民会館は コンパクト・適正な価格で 使いやすいものに

私たちは、市民会館の新築は必要と考えており、「コンパクト・適正な価格で、使いやすい」ものにすべきです。私たちは 70 億円以下で十分にできると試算して、「一つの考え」として「旧県庁(三の丸庁舎)の隣接地に旧市民会館程度の大きさの建築」という案を持っています。この案を含めて「市民会館はどのようなものが望ましいか」、市民の声・意見を聞くべきです。

将来世代にツケ回す 借金(市債)が急増

現在、水戸市は「4 大プロジェクト」として、新市民会館(約 320 億円。概算。以下同じ)、市役所庁舎(約 206 億円)、新ゴミ処理施設(約 400 億円)、東町体育館(約 100 億円)という、総額 1000 億円以上の税金投入する予定です。水戸市の年間予算に匹敵する「計画」を強行すると、将来世代にツケを回す借金(市債)も急増します。

私たちは各々の計画の規模縮小、見直しを求めます。とりわけ新市民会館「計画」はただちに白紙撤回すべきです。

新・水戸市民会館計画を白紙にもどし、市民の声を反映させる会 (略称「市民の会」)

代表 田中 重博

茨城大学名誉教授・地方自治論
茨城県自治体問題研究所理事長

丸山 幸司

弁護士・水戸翔合同法律
事務所

菅野 法子

水戸母親大会連絡会
事務局長

事務局長

岩清水 理

政府系金融機関 37 年
勤務し退職

役員を募集しています。

連絡先

〒310-0903 水戸市堀町 976-12

電話・FAX

029-253-2845

